

[議題 1]

新戸踏切に接道する市道新戸 111 号の拡幅改良の整備について

[質問の具体的内容]

新戸踏切に接道する市道新戸 111 号の拡幅改良については、平成 13 年度、15 年度、19 年度にも地域市政懇談会の議題として出している。当初は、新戸踏切、新磯踏切、下溝踏切について、児童生徒の安全な通学路確保として歩道を設置するようお願いしたが、踏切改良については、JR 東日本の改良条件があり非常に難しいとのことだった。

新戸踏切については、大型ダンプカーやバスがすれ違いできないため、どちらかの車両が止まるなどして、お互いのマナーの中でスムーズな通行ができる状況である。しかし、牽引トレーラーは車体が長いので、何度もハンドルを切ったり戻したりする必要があり、スムーズな通行ができない。事故が起きる可能性が十分に心配されるため、踏切改良は喫緊の課題である。早急に予算を確保し、対応をお願いしたい。

新戸踏切については、平成 13 年度から当面踏切に接道する市道新戸 111 号の拡幅改良を予定しているが、8 年間も全く事業が進行していない。どのような進捗状況になっているのか。

[回 答]

- ・ 新戸踏切については、平成 13 年度、15 年度、19 年度の地域市政懇談会で要望をいただいている。
- ・ 踏切の拡幅改良についての JR 東日本の考え方は、1 改良 1 廃止という大きな原則を持っており、1 箇所踏切を拡幅改良する場合、他の踏切を廃止するような状況がある。
- ・ こうしたことから、今の段階ですぐに踏切の拡幅改良することは難しい状況にある。
- ・ 平成 19 年 2 月には、新戸踏切や市道新戸相武台、近江屋道の関係等について、道路整備課で説明会を行い、踏切の改良等については、今すぐには難しいとお答えをしている。
- ・ このため、市としては、踏切部分をそのままにして、大型車両が回りやすいような形で暫定的に道路の線形を変更することができないか、地元の皆さまとこれから協議を行う予定でいる。
- ・ 当面は、そうしたことが可能かどうか、警察と協議等を進めている。
- ・ 警察との協議は、年内には終了したいと思っており、その協議が調いしだい、暫定的な整備での対応について地域の皆さまと協議していきたい。
- ・ 現在は、相武台下駅側の道路位置を大きくカーブがとれるような形で改良ができないか検討を行っているところである。
- ・ 警察との協議はまだ完全には終わっていないが、ある程度のところまで進めば、地元の皆さまとの協議等を並行して行いたいと考えており、できれば今年中に話ができればと思っている。
- ・ そそこでご理解をいただければ、どこの土地にどのような形で道路がかかるかなどの細かな測量を実施し、具体的な線形等を引いていくことになる。
- ・ そうしたことは、今年度中にできると思っている。

(道路整備課)

[議題 1 に対する質問等]

＜質問等＞

- ・ 平成 13 年度から話が出ており、今回に限って、JR 東日本のできない理由が決まったわけではない。

- ・ 現在、新戸踏切や新磯ふれあいセンター前の道路に車が何台通っているか把握しているのか。
- ・ この道路は主要な道路であり、非常に多くの大型車や乗用車が通るが、センターラインもない。
- ・ 新戸踏切は車が交互に進入するため、朝は大渋滞である。
- ・ さらに新戸踏切では、橋本駅へ向かう電車がある場合、警報機が鳴り始めても電車がなかなか来ない。
- ・ 相模原市の基本目標である「誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市」のまちづくりにはまったく沿っていないのではないか。
- ・ 今回の要望に対して検討は行われるが、そのままになってしまって、また来年、再来年にその話が出てくるのではないか。
- ・ 毎回こういうことをやっても、一向に改善されないのはどういうことなのか。
- ・ 新磯ふれあいセンター前の道路は時速 30 キロメートルであるが、皆時速 60 キロメートルぐらいで走っており、朝は大型車など非常に多くの車が走っている。
- ・ 歩道は線路側にあるから問題ないが、車道は非常に問題があると思う。
- ・ そうした問題を改善できないようであれば、政令指定都市に移行しても仕方がない。
- ・ 国が大学だとすれば、県は高等学校で、市は中学校である。
- ・ 中学校がいきなり高等学校のことを行っても無理である。
- ・ ましてや、今は行政が稼がないとだめな時代なのに、相模原市は他の政令指定都市と比べると、産業が少ない。
- ・ そのためにも、まず道路を整備しなければならないが、市の道路行政は非常に遅れている。
- ・ 政令指定都市になって、交付金をもらっても、稼ぐことができないのではないか。
- ・ 政令指定都市はどこも基幹産業があるが、相模原市の場合は企業が出ていっており、厳しいように思う。
- ・ せめてこうした整備がすぐにできるのであれば、政令指定都市になってもよいと思う。
- ・ 市民の安全を守るため、ぜひ対応していただきたい。

<質問等>

- ・ 新磯地区は、踏切が 4 つしかないが、踏切を行き来する人が非常に多いので、踏切やガードはとても大事である。
- ・ 特に勝坂から下磯部のところのガードは危ないので、ガードを拡幅するために努力するのは当然のことだと思う。
- ・ できるか、できないかではなく、やるか、やらないかである。
- ・ JR 東日本を動かして、実施してもらいたい。
- ・ 新磯地区はそういう地域なので、よく考えてもらいたい。

<回答>

- ・ 新戸踏切については、平成 13 年度からご意見をいただいているので早急に対応したいと思っているが、JR 東日本は踏切自体の改良について、1 改良 1 廃止という非常に強い方針を持っている。
- ・ 踏切は一番事故につながるので非常に強い考え方をもっており、これを打ち破るのはかなり困難だと思っている。
- ・ すぐに踏切改良を行うとは簡単には申し上げられないが、今は斜めに車が踏切を横断するような状況なので、それを真っすぐに変えるような形で道路の改良を考えている。
- ・ 道路を改良すれば、大型トレーラーなどは難しいかもしれないが、それ以外の車両は真っすぐ

に踏切を行き来でき、踏切がスムーズになるのではないかと考えている。

- ・ これについては、警察とも協議を行っているが、それに並行して地域の皆さまと話し合いをしていきたいと思っている。
- ・ 下り電車の場合踏切がなかなか開かないとのことだが、相武台下駅が上り電車と下り電車の行き違いの駅になっていること、踏切が直近であること、また、駅での安全確認等を行ったりするため踏切が長い間閉まっていることもあると理解している。
- ・ 道路の改良等は、いろいろな地域で安全・安心の観点から、改良の要望を伺っている。
- ・ 地域の中でどのようなところを幹線道路にするのか等いろいろ検討しており、危険性のある道路については、幅を広げるなど改良を逐次行っている。
- ・ すぐに実施するとお答えできればよいが、現在、計画的に少しずつ実施している状況である。

<質問等>

- ・ 新戸踏切は曲がるのに大変で、縁石は頻繁に JR 東日本が修理している。
- ・ また、遮断機もダンプに折られ、頻繁に取りかえている。
- ・ JR 相模線の中で一番補修が多い踏切だと思われるので、JR 東日本にとっても改良した方が得策だと思う。

<質問等>

- ・ 1 改良 1 廃止が JR 東日本の原則との話であるが、本年 10 月 30 日の朝日新聞によると、リニア中央新幹線を東京から名古屋まで約 5 兆円で予算化の計画があり、国から補助金をもらわないで実施するとのことだった。
- ・ それを考えると、1 改良 1 廃止との原則は理解に苦しむ。
- ・ 5 兆円に比べたら踏切改良の費用など微々たるものである。
- ・ そのことも十分認識し、市もあきらめないで粘り強く今後も折衝していく必要があるのではないか。

<回答>

- ・ 粘り強く折衝するつもりでいる。
- ・ なお、リニア中央新幹線は JR 東海であり、相模線は JR 東日本の対応である。
- ・ また、リニア中央新幹線の場合には、国家プロジェクトとしてもっと大きな目的を持っている。
- ・ JR 東日本とは、様々な接触を持つので、そういう中でやり取りをしたいと思っている。